

みなべ梅ラーニングコモンズ活動報告会

ミツバチと生物多様性グループ





みなべ梅ラーニングコモンズ

テーマ名:ミツバチと生物多様性

課題	ミツバチをはじめとした小さな生き物の減少が梅の作柄の悪化にも影響を与えている。
目標	ミツバチを守り、小さな生き物たちが住みやすい環境を作る事で梅の生産量の安定化の一助となる。

	活動内容	成果	関係(連携)団体
令和7年度 活動実績	① ミツバチ巣箱作りワークショップ R8/1/25 @役場駐車場 二ホンミツバチの巣箱を作った。	参加者31名 巣箱を作る事でミツバチに対する意識を高めることができた。	ミツバチ保存会
	②京都産業大学、高橋先生と梅畑の生き物調査 R8/2/22 @たかだ果園様(午後) 子ども達に梅畑の生き物調査をしてもらった。 昼食に梅干しおにぎり、おやつに餅つきも行った。	参加者18名 子ども達が梅畑に住む昆虫などの小さな生き物に触れ、梅製品に触れる機会になった。	京都産業大学 たかだ果園
	③ビーホテル製作ワークショップ R8/2/22 @たかだ果園様(午前) 子ども達が小さな生き物の休憩所「ビーホテル」を作った。	参加者18名 子ども達が「ビーホテル」を作る事で小さな虫たちに意識を向ける事ができた。	まちキャンパスプロジェクト たかだ果園

振り返りと今後の展望	<p>夏に開催予定であった生物調査が悪天候で流れた事により、年明け以降にイベントが集中してしまった。年内にイベント開催するスケジュールリングが必要。</p> <p>巣箱に関しては何より設置数を増やすことが重要なので、継続してワークショップを開催していきたい。</p> <p>生物調査やビーホテルも小さな生き物に意識を向ける事が大事なので子供たちにその機会を提供していきたい。</p> <p>加えて、次世代を担う子ども達に梅干しを含む梅製品に触れる機会を積極的に企画する事で、地域の中からも梅の需要の減少に少しでも歯止めを掛けられるように促していきたい。</p>
------------	--



梅の不作の原因の一つ

ミツバチが足りない

- 今期JAからの巣箱の貸し出しも希望数の6割に止まりました。
- ニホンミツバチの減少だけではなくセイヨウミツバチも大きくその個体数を減らしています。
- 養蜂家さんも頑張ってくれていますが、みなべ町もミツバチの積極的な保護を加速しなくてはと思います。
- 梅の作柄は今年も悪そうな気配です。
- もちろんミツバチだけが原因では無いと思います。
- しかし、ミツバチがたくさんいたなら、梅の作柄の安定にもきっと繋がると思います。



活動実績

ミツバチ巣箱作りと生き物調査

紀伊民報 2026--2-18

ミツバチの巣箱を作る参加者 (みなべ町芝で)



2026-4-3 紀伊民報

梅畑で楽しく生き物調査



有機栽培の梅畑で、昆虫などを採集する子どもたち
(みなべ町晩稲で)

SDGsでみなべ

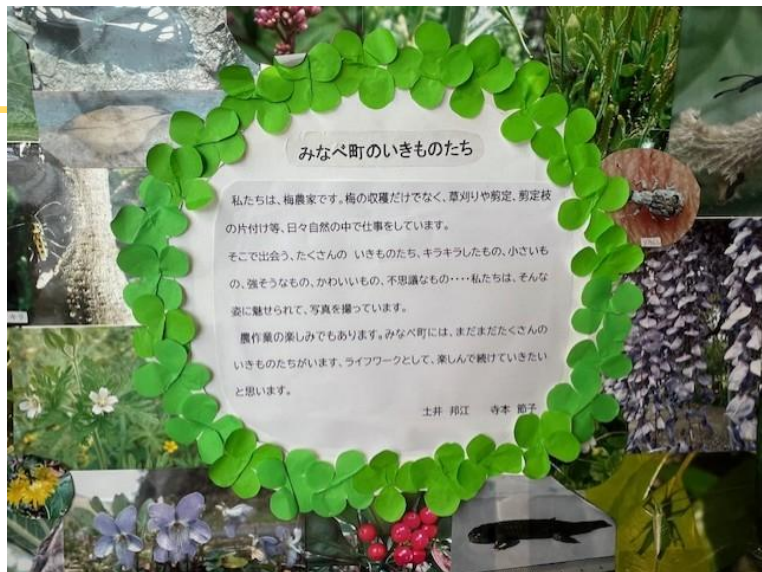


ビーホテルづくり

好きな色、形を描いて世界に一つのビーホテルを作りました



みなべ町内にはたくさんの生きものがいます





お昼は梅干しおにぎり&おやつは梅肉入りお餅

お餅つきも体験しました



京都産業大学高橋研究室の学生の皆さんと一緒に



成果と今後

成果

- ミツバチ保護において一番重要とされる、町内のニホンミツバチの巣箱の設置数を増やすことができた。
- 継続して巣箱製作ワークショップを行うことで、ニホンミツバチ保護の重要性をさらに広く町民にPRしていく事ができる。
- 子どもたちが小さな生き物達に意識を持つ機会を提供することで、その動態にも触れ、小さな生き物のみならず、気候変動や環境変化に関心を持ってもらえるようになる。
- この地域の子供たちが梅干しをはじめとした梅製品にしっかりと触れる事でその良さに気付いてもらう事が次世代の梅の需要の創出に繋がると思います。

ミツバチをプレゼントする。

- 「わしの小さい頃は、この辺にもミツバチがぎょうさんおったんじゃ」という思い出話ではなく、実際にミツバチやホタル、小さな生き物にあふれる豊かな生態系をバトンとして次の世代に残す努力をしてみませんか。
- 簡単な事じゃないし、みなべ町だけが頑張っても達成できるものではありませんが、前向きに取り組む姿勢をPRする事でみなべ町のイメージアップに繋がっていかれたらと思います。